

令和6年度 鹿児島県支部懇談会

令和6年11月24日（日）に、鹿児島市内の鹿児島県社会福祉センター会議室において支部懇談会を開催しました。

会員4名とその同伴者2名という少人数の集まりとなりましたが、和やかな雰囲気の中で、出席者同士打ち解けた話しで時間が過ぎるのを忘れるほどでした。

○懇談会次第（11時～13時）

- ・竹内 正広支部長あいさつ
- ・欠席会員の近況等報告
- ・出席者による近況報告及び情報交換
- ・勉強会「ペースメーカー手帳の読み方」（資料提供：東京支部）
- ・昼食と歓談
- ・岩崎 宣男支部相談役閉会あいさつ

○懇談会概要

今回の懇談会では、「会員16名全員に案内を差し上げたところ、会員5名と同伴者2名の7名の方から出席の返信がありました。その後、うち1名の方から体調の関係で急遽欠席したいとの連絡がありました。



昨年秋の懇談会では、当県支部相談役の「たちばないやまクリニック」の橘裕紀院長先生に、講話や質問への御助言もいただきましたが、今回は出席者が少なかったため、その代わりに東京支部より御提供いただいた「ペースメーカー手帳の読み方」の資料を基に、勉強会をすることになりました。

4月の総会以降、1名の会員の方の訃報があり、御香典に支部長名のお手紙を添えて御家族へ送らせていただいたことを報告後、出席者全員で黙祷を捧げました。

また今回は欠席の方からも、電話や出欠回答書の中で近況等をお寄せいただきました。その内容を紹介したところ、岩崎相談役から、欠席者の中には、以前はよく出席されていた方も含まれていること、会員の高齢化が進む中でコロナの影響も大きかったのではとの話がありました。

次に、出席者による近況報告及び情報交換に移り、それぞれ近況等を語っていただきました。その中では、ペースメーカーを入れた後、体調が思わしくない状況を当時の主治医に伝えても、なかなか良い対応を得られずにいたが、支部の会

に出て情報を集め、それを基に主治医を変更したところ、今は満足のいく結果となっていることなどの話がありました。



皆さん日頃からペースメーカー手帳は持ち歩いてはいるものの、記載されている内容をじっくり見ることは余りないと思われます。支部長が講師役となり、東京支部から提供いただいた「ペースメーカー手帳の読み方」の資料を基に勉強会を行いました。資料のポイントとなる部分に新たにアンダーラインを引き、その部分と支部長のペースメーカー手帳の写しを見比べながら説明しました。資料は、ペースメーカー手帳の内容を分かりやすく説明したものとなっています。それでも「やっぱりちょっと難しいなあ」というのが皆さん本音のようでした。貴重な資料をご提供くださいました東京支部の村林

支部長さん有難うございました。

昼食・歓談の時間では、鹿児島市内にあるテイクアウトもできる日本料理のお店から、お弁当を取り寄せました。皆さんとても美味しいと好評で、話も更に盛り上がりました。



昼食・歓談の時間が終わり、今回は4月20日（日）に総会・懇談会を開催する予定であることも伝えました。

最後に岩崎相談役から、以前の会では薬剤師の先生に講話してもらったこともあったことなど、今後の会の運営に参考になる話があり懇談会を閉会しました。

本県支部は、もともと会員数が少ないこと、また高齢な方も多いことなどから参集者は少ない傾向にはありますが、逆に少人数ならではの和やかな雰囲気の中で、出席者同士打ち解けた話して楽しく時間が過ぎていきます。また、多くの方の出席が見込まれる場合は、相談医の先生や外部から講師をお招きしての講話も取り入れていきたいと思えます。



次回の集まりは4月20日（日）に予定しています。楽しい語らいと美味しいお弁当が待っています。鹿児島県支部の会員皆さんのご参加を心待ちにしています。

支部長 竹内正広寄稿